R8 年度
夏号
VOL. 69

基本理念「心のかよう医療を行い、信頼される病院」

かわせみ

患者に寄り添う
高度専門チームが支える消化器内科



掲載内容

- 消化器内科のご紹介
- 医療相談・連携室長就任のご挨拶
- 看護局長就任のご挨拶
- 診療科案内についてのお知らせ
- 新任医師及び退任医師のお知らせ

〒573-1013　枚方市禁野本町2-14-1　TEL.072-847-2821 FAX.072-847-2825　HP https://hirakatacity-hp.osaka.jp/

消化器内科のご紹介



中西　吉彦（なかにし　よしひこ）
消化器センター 副センター長 兼
医療相談・連携室長

当院では平成31年4月に消化器センターを立ち上げました。これまでは消化器内科と消化器外科は別々の外来受付でしたが、入り口を一つにすることにより、よりスムーズに診断・治療を行えるようになりました。

消化器内科では食道・胃・小腸・大腸といった消化管だけではなく、肝臓・胆嚢・膵臓などの腹部臓器の診療を専門とする診療科です。現在、スタッフは8名在籍しており、上部消化管、下部消化管、肝胆膵領域にわたって加療を行っています。また各医師がそれぞれ専門分野を持っており、内視鏡治療、肝疾患、炎症性腸疾患、膵臓、胆道疾患などの様々な疾患に対して高度な知識と経験を有しています。

内視鏡検査においては、患者さんの負担軽減を重視し、経鼻内視鏡を多く取り入れています。経鼻内視鏡は嘔吐反射が少なく、苦痛の少ない検査が可能です。さらに、当院では鎮静を積極的に行っており、不安や緊張を感じやすい方でもリラックスした状態で検査をうけていただけます。検査中はモニターを用いて全身状態を常に確認し、安全管理を徹底しています。検査後は広く快適なリカバリールームで鎮静から十分に回復するまでゆっくりとお休みいただけます。これにより検査後の体調変化にも迅速に対応できる体制を整えています。

また、胆道・膵臓領域の診療にも力を入れており、閉塞性黄疸に対する減黄術や大口径バルーンを用いた内視鏡的乳頭大口径バルーン拡張術（EPLBD）だけではなく、超音波内視鏡（EUS）を用いた精密検査および治療にも対応しています。これにより、従来は診断や治療が困難であった疾患に対しても、より低侵襲で高精度な医療を提供することが可能です。

当院は平成28年4月から大阪府がん診療拠点病院に指定されております。消化器癌では早期食道癌、胃癌、大腸癌に対して積極的に内視鏡的切除を行っております。また肝癌に対してはまずは化学療法を行い、必要に応じてラジオ波、血管造影下での化学療法（TACE）も行っています。外科的治療が必要な場合には外科と連携し治療を行っています。これらの治療適応がなく、化学療法が必要な場合には大学



病院から化学療法の専門医師を招いて加療を行っています。積極的な治療ができない場合には緩和ケアチームと連携し、緩和ケアを行っています。

当科では専門性・安全性・快適性のすべてを追求し、患者さん一人一人に寄り添った医療を実践しています。安心して検査・治療を受けていただける環境を整え、地域医療に貢献してまいります。



医療相談・連携室長就任のご挨拶

中西　吉彦　消化器センター 副センター長 兼 医療相談・連携室長

（なかにし　よしひこ）

このたび、令和8年4月から医療相談・連携室長を拝命いたしました中西吉彦です。

私はこれまで消化器疾患を中心に大阪医科大学、石切生喜病院などの急性期病院で診療を行ってきました。主に急性期医療に携わり、平成28年に当院に着任して以来、約10年間診療に従事してまいりました。

近年、医療の専門化と高齢化が進み、さらに慢性疾患や多疾患併存を抱える方が増えています。また患者さんを支えるご家族も高齢化している印象を受けます。

患者さんの早期回復と円滑な在宅復帰を支えるためには、地域医療が不可欠であると考えておりましたが、地域の診療所などを訪問し面談する中で、多くの地域医療関係者や当院職員のかかわりや努力なしには地域医療が成り立たないことを改めて実感させていただいております。

患者さん中心の医療を実現するため、地域の医療機関や関係機関との連携を深め、退院後も安心して医療を提供できるような環境を整えたいと思っております。

今後ともよろしくお願いします。



看護局長就任のご挨拶

二宮　豊恵　看護局長

（にのみや　あつえ）

地域医療機関の皆様方におかれましては、日頃より当院の診療に対してご理解、ご協力を賜り心より御礼申し上げます。

令和8年4月より看護局長に就任いたしました。当院は「心のかよう医療」を実践し、信頼される病院として地域に根ざした医療の提供を使命として取り組んでおります。その実現に向け、地域の医療機関や事業者の皆様との連携を一層強化し、公立病院として役割を果たしながら、地域住民の皆様の健康増進に貢献してまいります。

看護局におきましては「心あたたまる看護」を理念に掲げ、専門職としての自覚を持ち、常に研鑽を重ねながら看護実践力の向上に努めております。また、変化する医療現場において、新たな看護を創造し、柔軟に変革を推進してまいります。人材育成においても力を注ぎ、質の高い看護の提供に努めます。

今後も地域の皆様に寄り添い、安心して医療を受けていただけるよう最善を尽くしてまいります。引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

関　係　各　位

これまで配布してまいりました診療科案内についてですが、今後は最新かつ正確な情報を迅速にご提供するため、紙媒体での配布を終了し、ホームページ上の情報をご活用いただく運びとなりました。
つきましては、右記のQRコードもしくは下部URLから最新の診療科情報をご参照いただく形となります。
医療機関の皆様にはご不便をおかけすることもあるかと存じますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

ホームページURL　https://hirakatacity-hp.osaka.jp/departments/

新任医師及び退職医師のお知らせ

新任医師は、27名（令和8年4月1日着任）



花岡　伸治（はなおか　のぶはる）　呼吸器外科　病院顧問

4月より病院顧問／呼吸器外科医師として着任いたしました花岡伸治（はなおか　のぶはる）と申します。

大阪医科薬科大学病院では、原発性肺癌や消化器癌や頭頸部癌からの転移性肺腫瘍に対して胸腔鏡またはロボット支援下手術で治療を行っておりました。私の当院での役割は、ロボット支援下手術を立ち上げることです。大阪医科薬科大学病院では令和元年7月より開始し、現在約400例、年間90例を行っていました。

当院でもロボット支援下手術により安全かつ低侵襲な手術を患者さんに提供したいと思います。



米田　浩二（こめだ　こうじ）　消化器外科　主任部長

令和8年4月から着任させていただいた、米田浩二(こめだ　こうじ)です。

平成11年から消化器外科医として25年以上さまざまな検査・手術に従事してまいりました。現在は肝胆膵領域を中心に診療を行っております。

肝胆膵領域は依然として専門性の高い分野で、それらの学会が定める肝胆膵高度技能専門医および内視鏡外科学会技術認定医を取得しております。

手術に際しては、低侵襲手術である内視鏡外科手術を可能な限り取り入れていきたいと思っております。

肝胆膵疾患でお悩みのことがございましたら、どうぞお気軽にご相談ください。



三木　義仁（みき　よしひと）　脳神経外科　部長

モットー：患者さんに寄り添い、ともに歩む医療を目指します。

令和8年4月1日より市立ひらかた病院脳神経外科部長に着任いたしました、三木義仁（みき　よしひと）と申します。

平成13年（2001年）に大阪医科大学（現大阪医科薬科大学）を卒業、大学病院その他関連施設で勤務の後、縁あって今春より市立ひらかた病院にお世話になる事となりました。

当院での勤務は初めてですが、同級生や先輩後輩、学生時代のバスケットボール部の仲間などにも囲まれ、スタッフも皆親切で、初めてなのに古巣に戻ったような感覚があり、自身で行き詰まった時には多くの仲間が支え助けてくれるので、大変頼もしく安心しました。

専門は開頭術で、領域としては脳卒中（脳血管障害）診療を得意としますが、神経外傷、脳腫瘍、脊椎脊髄疾患、その他慢性頭痛など日常的疾患を含めた脳外科疾患全般に対応させていただきますので、お気軽にご相談下さい。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

松野　潤	（まつの　じゅん）	消化器内科　副部長
高山　和樹	（たかやま　かずき）	消化器内科　医長
山口　仁実	（やまぐち　ひとみ）	循環器内科　医長
水田　昇	（みずた　のぼる）	消化器内科　医長
清原　卓也	（きよはら　たくや）	循環器内科　医長
吉谷　州太	（よしたに　しゅうた）	皮膚科　医員
山東　正志	（さんどう　まさし）	麻酔科　医員
池田　愛恵	（いけだ　まなえ）	眼科　シニアレジデント
佐々木　辰徳	（ささき　たつのり）	形成外科　シニアレジデント
松野　萌音	（まつの　もね）	消化器内科　シニアレジデント
三輪　まりあ	（みわ　まりあ）	乳腺・内分泌外科　シニアレジデント
吉良　貞則	（きら　さだのり）	整形外科　シニアレジデント

松嶋　昴介	（まつしま　こうすけ）	泌尿器科　シニアレジデント
加藤　幹雄	（かとう　みきお）	小児科　シニアレジデント
下茂　賢史朗	（しも　けんしろう）	形成外科　シニアレジデント
岡田　大輝	（おかだ　だいき）	歯科口腔外科　シニアレジデント
中村　宗一朗	（なかむら　そういちろう）	皮膚科　シニアレジデント
大森　麻由	（おおもり　まゆ）	小児科　シニアレジデント
森本　亜衣	（もりもと　あい）	糖尿病・内分泌内科　シニアレジデント
増本　晃大	（ますもと　こうだい）	糖尿病・内分泌内科　シニアレジデント
加藤　広貴	（かとう　ひろき）	消化器外科　レジデント
富井　雄大	（とみい　ゆうだい）	消化器内科　レジデント
大田　実穂	（おおた　みほ）	臨床研修医（1年目）
田口　さくら	（たぐち　さくら）	臨床研修医（1年目）

3月末をもって副院長を退任し、4月より診療顧問に就任いたしました。

■ 消化器外科　木下　隆　■ 呼吸器内科　後藤　功　■ 看護局　白石　由美

3月末、4月末をもって退職いたしました。ありがとうございました。

■ 小児科　岡空　圭介・峯　敦・中西　苗穂子　■ 健診センター　古川　恵三　■ 消化器内科　川上　晃司・杉村　仁　■ 皮膚科　日置　千華・山科　伸晃
■ 形成外科　岡本　貴恵・久野　勇年　■ 神経内科　廣瀬　昂彦　■ リハビリテーション科　岩井　浩　■ 循環器内科　奥野　隆祐・藤吉　秀樹　■ 口腔外科　岡江　梓
■ 整形外科　田中　敬　■ 糖尿病・内分泌内科　髙橋　良碩・小山　和也　■ 乳腺外科　木村　優希　■ 麻酔科　彦坂　祥子　■ 泌尿器科　松田　卓也
■ 産婦人科　入江　惇太